

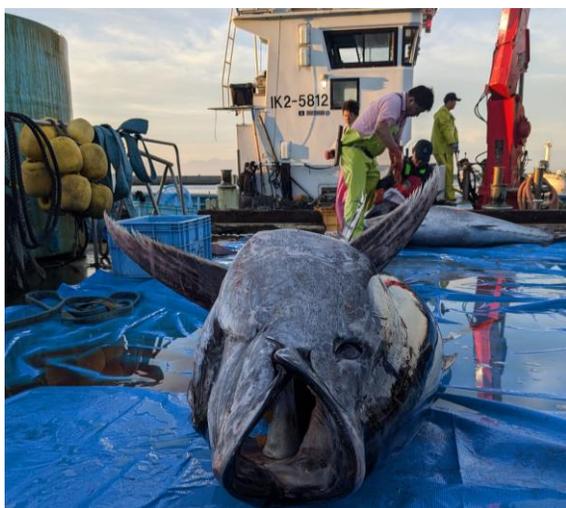
水産学×経済学で持続可能な水産業の実現へ

経済学やデータサイエンスを用いて、水産分野の様々な課題を研究しています。近年特に重点を置いている研究分野は、①消費者行動、②漁業管理、③ライフサイクルアセスメント（LCA）です。



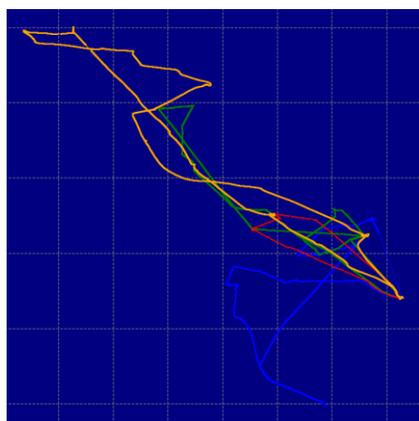
築地場外市場での実験スタッフ

【消費者行動】日本人の水産物の消費量は右肩下がりなのは何故でしょうか？持続可能性を示す認証ラベルに日本では付加価値が付かないのは何故でしょうか？消費者の行動原理を理解するために、様々な実験を行っています。



【漁業管理】2018年に漁業法が改正され、新しい資源管理が始まっています。しかし現場にいくと多くの問題が生じていることが分かります。日本にとって最適な漁業管理の在り方は何か、現地調査や統計解析を用いて検討しています。

←石川県の定置網漁業調査の様子



【LCA】経済活動に伴う環境負荷を減らすことは世界的な課題です。現在の水産業の環境負荷はどの程度か、どうすればそれを減らせるかについて、LCAを用いた検討を進めています。スマート水産業の効果検証（経営効率化+環境負荷低減）も実施中です。

←まき網船団の航跡を用いて政策の効果検証を実施